

海洋高等学校 新聞広報

平成23年4月22日 (金)

大好評 海洋市場

航海船舶コースの3年生18人が、実習船「みずなぎ」による底曳網漁業実習で漁獲した経ヶ岬沖の鮮魚を販売しました。

毎日新聞
(丹後丹波版)

海洋高生漁獲の新鮮な魚を販売
宮津で市場
宮津市の府立海洋高の「海洋市場」が21日開かれ、生徒18人が19〜21日に、実習船「みずなぎ」で経ヶ岬沖の日本海で漁獲したばかりのアジ、カマスなど



を販売した。写真。スルメイカは加工して一夜干しにした。近所の人が大勢訪れ、新鮮な魚を次々と買い求めていた。次回は5月12日午後3時からの予定。
【塩田敏夫】

朝日新聞
(丹後丹波版)

海洋高生の市場 新鮮魚介が人気

府立海洋高校(宮津市上司)で21日、丹後半島沖での漁業実習で取れた魚を販売する「海洋市場」が開かれた。写真。地元住民らが新鮮な海の幸を品定めした。

毎年3、4回開かれており、今回は今年度最初の市。この日の魚は、航海船舶コースの3年生18人が、実習船「みずなぎ」(185ト)で経ヶ岬(京丹後市)沖に出て、底引き網で取った。タイやシロイカ、マアジなどが並び、1匹100〜200円程度。
将来は漁師と民宿経営をしたいという3年生の亀田泰宏さん(17)は、「一生懸命取った魚なので、おいしく



食べてもらえたらうれしい」と話した。(伊藤誠)

